

最新医療
岡崎市民病院
～医療の現場から～
第6回

早めに気づいて！ 関節リウマチ

関節リウマチとは、本来自分の体を守るために備わっている免疫という働きが、自分の体を傷つけてしまう「自己免疫疾患」という病気の仲間です。免疫の働きに異常が生じ、誤って自分の細胞や組織を攻撃することで炎症が起こり、関節の痛みや腫れとなって現れます。早期に適切な治療を受けないと、徐々に軟骨や骨に変形や破壊が起こります。

関節リウマチは、関節を動かさなくても激しい痛みや腫れを生じる点が、他の関節の病気と異なります。以前は、関節リウマチの進行を止めることは困難でした。しかし、近年では、様々な薬剤が使えるようになったため、「痛みや腫れない状態」や「関節の破壊が進まない状態」、「日常生活動作に支障をきたさない状態」を治療目標とすることができるようになりました。

小さな変化
見逃さないで

関節リウマチのサイン

- 朝起きて30分以上、手に“こわばり感”がある
- ちょっとした動作でも手が動かしにくい



他にも

- 服のボタンが外しにくい
- 歯ブラシが持ちにくい
- 箸がうまく使えない など

関節リウマチの薬物療法は、飲み薬や注射薬を組み合わせて行います。時に免疫を抑える薬や、様々な副作用のある薬剤を使う事も多いものの、薬剤の副作用や有害な影響は事前の検査などにより対処できるようになってきています。リウマチ患者さんと専門医が必要な知識を共有しつつ、治療を進めて行くことが必要不可欠です。当院整形外科では、昨年4月に関節リウマチの専門外来を開設し、患者さん一人ひとりの症状に合った治療ができるようになりました。心配な症状（右参照）が続くようであれば、まずはかかりつけ医へご相談ください。

岡崎市民病院 整形外科
統括部長 加藤 大三

市民病院を受診する際は「かかりつけ医」の紹介状をお持ちください。

4月から

ごみ処理施設の受入時間などの変更

- 1 ごみ処理施設の平日の昼時間（12時～13時）の受け入れを開始します。
対象施設：中央クリーンセンター、八帖クリーンセンター、北部一般廃棄物最終処分場
- 2 次のごみ処理施設の受入品目を増やします。
 - ・ 中央クリーンセンターの土曜日の受入品目に、不燃ごみ、缶・びん、発火性危険ごみ、有害ごみ、3分別（紙製容器包装・プラスチック製容器包装・ペットボトル）、新聞・雑誌などの資源物を追加
 - ・ 八帖クリーンセンターの受入品目に、缶・びん、発火性危険ごみ、有害ごみ、3分別、新聞・雑誌などの資源物を追加
- 3 中央クリーンセンターの毎月第4日曜日（リサイクルの日）の粗大ごみの受け入れを午前のみ（8時30分～11時30分）に短縮します。

【変更後】直接搬入の受付（年末年始は除く） ※祝日も受け付けます。

分別の種類	中央クリーンセンター ☎27・7153 FAX27・7053	八帖クリーンセンター ☎22・5436 FAX25・8146	北部一般廃棄物最終処分場 ☎27・7101 FAX27・7091
可燃ごみ、缶・びん、発火性危険ごみ・有害ごみ、3分別、資源物(新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック・古着)	・月～金曜日 8時30分～16時 ・土曜日 8時30分～11時30分		/
不燃ごみ	・月～金曜日 8時30分～16時 ・土曜日 8時30分～11時30分		
粗大ごみ	【可燃・不燃】 ・月～金曜日 8時30分～16時 ・土曜日 8時30分～11時30分 ・毎月第4日曜日（リサイクルの日） 8時30分～11時30分	【可燃のみ】 ・月～金曜日 8時30分～16時 ・土曜日 8時30分～11時30分	
埋立ごみ			

通常のごみ出しは、朝8時30分までに決められたステーションへ出すようにしてください。

ごみの分別・収集に関する問い合わせ ごみ対策課 ☎22・1153 FAX25・8153 直接搬入に関する問い合わせは各施設へ。